

平成25年度 加茂市・南蒲原郡国語部 活動報告

部長 濱井 民子

1 研究主題

「表現力を高めるための指導の工夫」

2 研究の概要

加茂市・南蒲原郡地区では、加茂市及び南蒲原郡（田上町）と合同で教育課程の研修を行い、研究主題に沿った研修は、加茂市の小中学校合同で行っている。

- ・教育課程伝達講習会…田上町国語部と合同（8/27）
- ・加茂市学校教育研究協議会国語部研修会…加茂市小中学校合同（8/27）

講師 加茂市立葵中学校 教諭
白川 方子 先生

3 研究の実際

加茂市国語部研修会の研究テーマが、「表現力を高めるための指導の工夫」である。今年度は、意図する内容を分かりやすく説得力のある文章にまとめ、相手に自分の思いを伝える主張発表につなげていく指導の方法について、葵中学校白川先生より実践を紹介していただいた。

- ①意見文の主題を決めるために、主題となる型を示し、選んだ主題について主張したい項目を挙げさせる。題材を選ぶ時に、他者への批判ではなく、社会に向けた提言となるようにする。
- ②「意見文を書こう」構成ワークシートを用いて、考えを整理させる。ワークシート項目は、「テーマ・訴えたいこと」「考えたきっかけ」「きっかけを考えた理由」「自分なりに行動していること」「自分の行動の反省」「違ったものの見方、考え方」「まとめ・これからの抱負」。「テーマ・訴えたいこと」が実体験と結びついているような具体的な内容になっていることが大切。このワークシートに書いた内容をつなげていくことで、主張文の大筋が書ける。
- ③対話を通して、印象的な書き出しや効果的な表現方法に気づかせたり内容を深めさせたりする。
- ④意見文を発表し、評価し合う。発表場面だけでなく、一日一度は意見を発表する場を設けることで、評価する力や聞く力を育てる。

実践紹介後、部員で質疑応答を行った。小学校では主題という言葉を用いなくなったことや、「テーマを自分で設定できること」「問題意識を表現できること」を小学校でできるようにしてほしい等の話題で意見交流が行われた。

4 成果と課題

ワークシートを提示していただく等実践的で具体的な指導例で、授業にすぐに生かすことができる内容であった。中学校での取組であったが、小学校で育てていくべき力もとらえることができ、とても参考になった。教育課程伝達講習会では、言語活動の充実と指導に生きる評価の在り方について報告があった。今後、評価についても取り上げ、指導と評価の一体化についても研修を深めいく必要性を感じた。